

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒160-8486
 住 所 東京都新宿区新宿5-3-1
 氏 名 株式会社ヨドバシカメラ
 代表取締役 藤沢 昭和 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項（同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社ヨドバシカメラ		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 殿町3-25		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業、小売業
	中分類	56	各種商品小売業
主たる事業 の内容	カメラ 電気製品 時計 装飾品の小売販売		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		4,771 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	2022 年度 ~ 2024 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

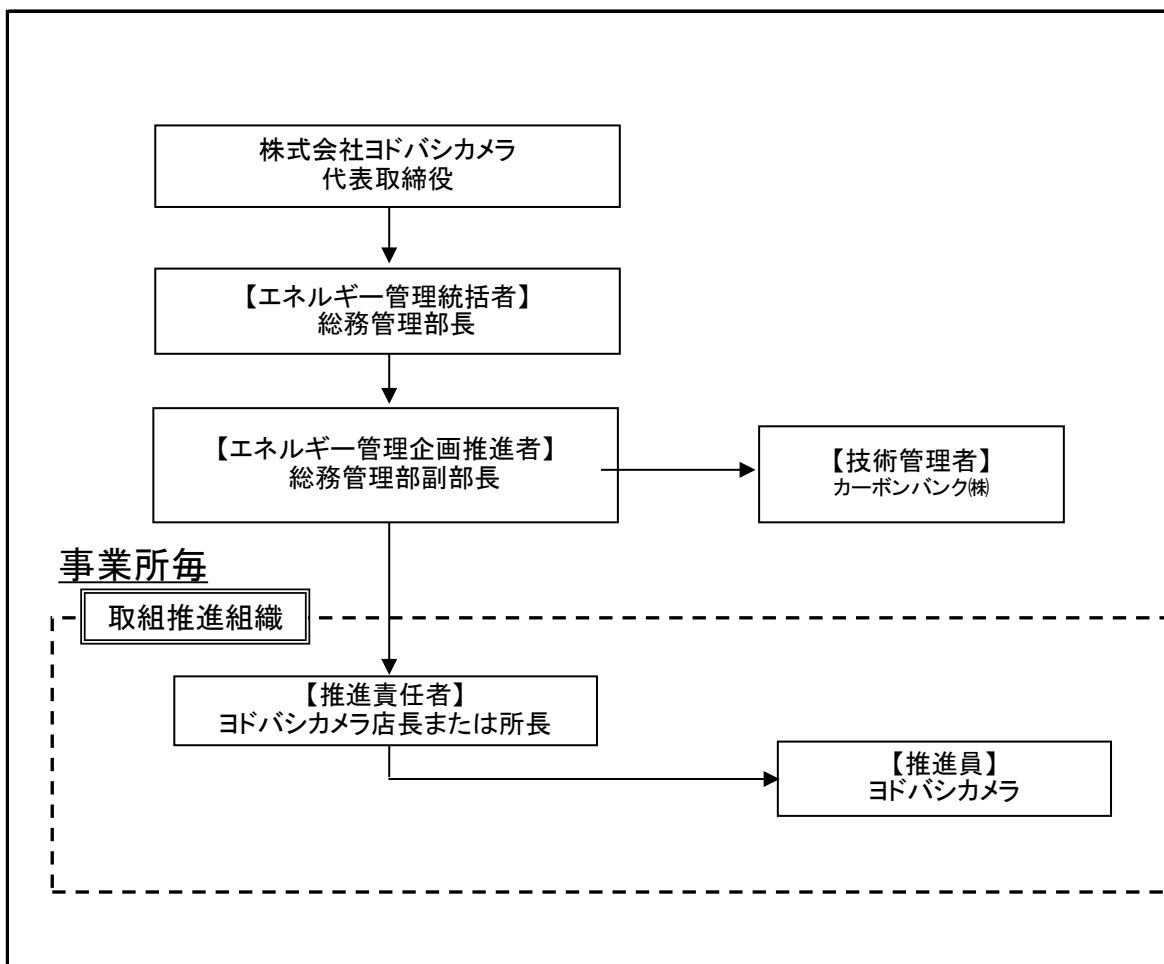
(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

1. 事業者基本方針
省エネルギー、施設の長寿命化、廃棄物の削減などで地球環境との共生を目指す。
2. 市内事業所の基本方針
計画期間（3年以内）に事業活動地球温暖化対策指針にある基本メニューを実施する。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDC Aサイクル）を行うための方針

1. 川崎市内事業所の省エネおよび目標削減設定を行い年度計画を策定する。省エネ実施項目については、その都度本部と連携しながら、省エネ対策と設備新設・更新・改修等による省エネを推進していく。
2. 省エネ推進活動を効率的に行うために、全従業員参加による管理体制を整備し、推進責任者にその都度報告をし、省エネルギー対策の企画・立案・実施を行う。
3. 本部にエネルギー使用量に関するデータ等を本部担当部署へ提供・報告し、評価を伺い計画の見直しを行い、実施項目等の見直し判断を行う。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基準	年度	2021				年度
目標	年度	2024				年度
基準	排出量	(実)	8,493	(実)		
		(調)	8,416 t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
目標	排出量	(実)	8,238	(実)		
		(調)	t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
削減量		(実)	255 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
内訳	対策実施による削減量	(実)	255 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
	上記以外の削減量	(実)	0 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
削減率		(実)	3.0 %	(実)	%	

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原単位等の活動量		建物延床面積			
原単位の単位		t-CO ₂ /m ²			
基準年度の値		0.03671			
目標年度の値		0.03561			
削減率		3.0 %			

ウ 目標設定に関する説明

温室効果ガスの排出量原単位の削減を図るため、基準排出量原単位の値を年平均で1%削減することを目標に設定した。

- ・小売店舗として、お客様に不快感をもたれない範囲で、可能な限り省エネルギーを進めたい。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

当社は首都圏を中心に全国に店舗展開をしていますが、全社で年平均1%の原単位改善を目標としております。

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

計 画	1. 空調機器の保安全管理 ・ フィルターや室外機の定期的な保守・点検を実施 2. 空調機器の温度設定管理 3. 照明の点灯管理
第1年度	/
第2年度	/
第3年度	/
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	/

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

1. 推進体制の整備 2. 空調機器の温度設定管理 ・ 温度設定および運転方法の見直し (平成23年度) 3. 照明の点灯管理 ・ 照明の間引き (平成23年度) ・ バックヤードの時間帯による点灯率管理 (平成23年度) ・ 不要な照明の消灯の徹底 (平成23年度) 4. 空調機器の安全管理 ・ フィルターの定期的な清掃 5. 高効率機器への更新 ・ メタルハライドランプおよびHf蛍光灯をLED照明に更新 (平成24・25年度) 6. 照明設備の運用管理 ・ 調光による減光又は消灯を行うことにより過剰又は不要な点灯の防止 (平成19年度) 7. 事務用機器の管理 ・ 低電力モード設定および定期的な保守、点検の実施 (平成23年度)
--

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	○	費用対効果の分析、設置場所等の確認を行い導入を検討する
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	なし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 商品配送の効率化 2. 従業員の通勤に公共交通機関以外の通勤は一切禁止 3. 省エネ製品の販売 4. 商品の簡易包装による廃棄物の減量化 5. 納品時の大量梱包納品時はパレット（露出）納品の徹底 6. 納品時の梱包材は分別による再資源化
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	8,493	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

4,771	KL
-------	----

ウ 事業所の数

4

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
新川崎YAC	川崎区殿町3-25-15	6,714 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
ヨドバシカメラ マルチメディア川崎ルフロン	川崎区日進町1-11	1,291 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂